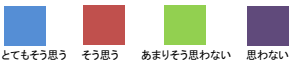
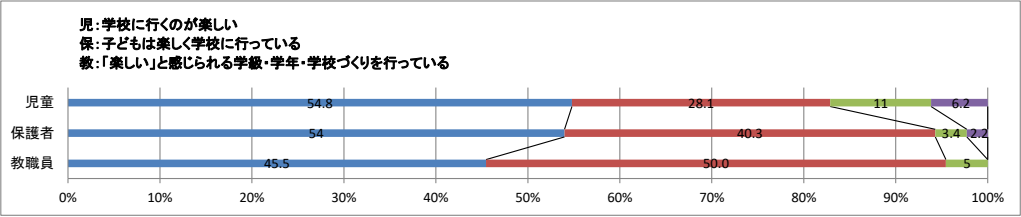


令和5年度

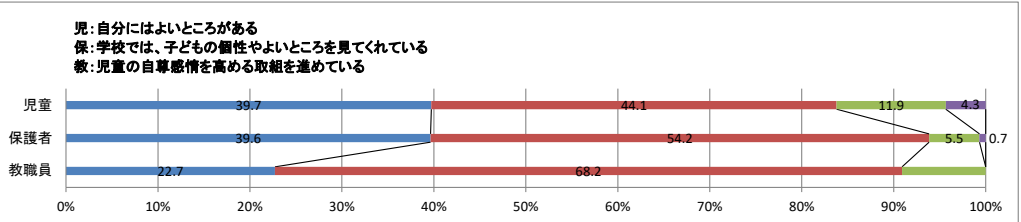
学校評価アンケートの結果



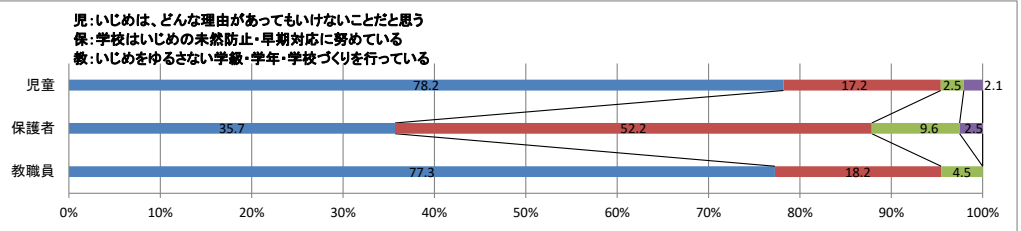
1  
学校に行くのが楽しい



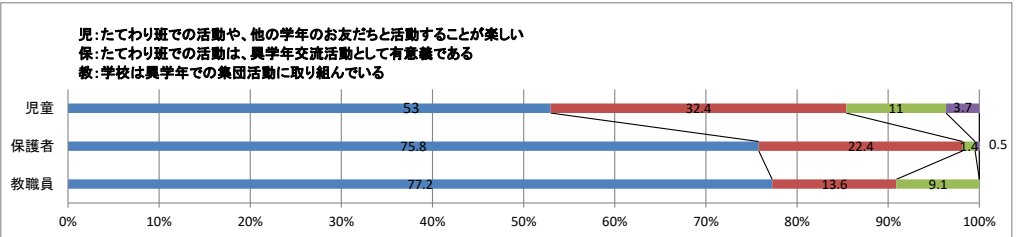
2  
自分にはよいところがある



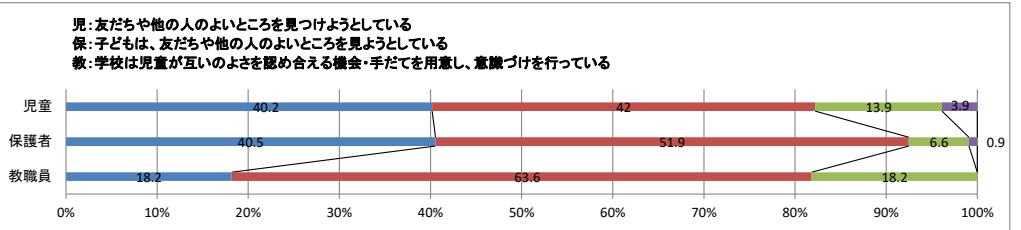
3  
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



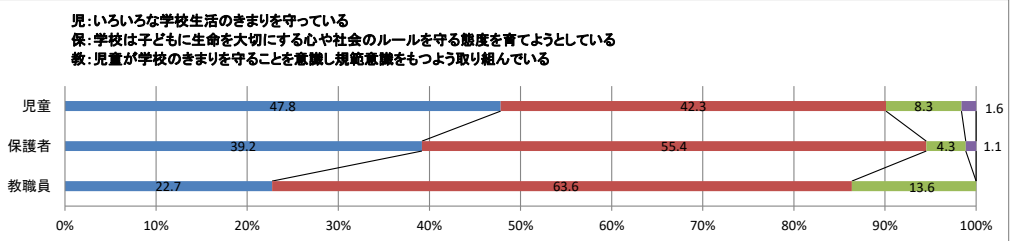
4  
たてわり班での活動や、他の学年のお友だちと活動することが楽しい



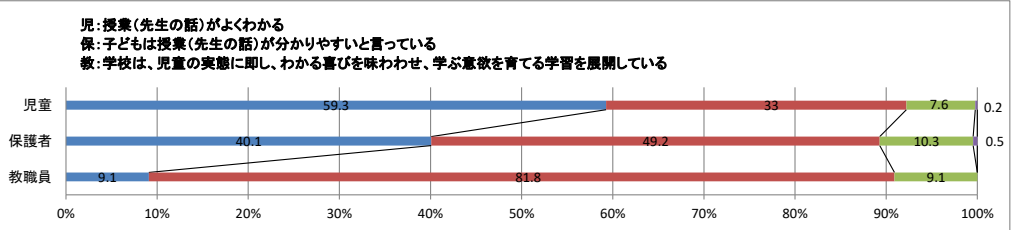
5  
友だちや他の人のよいところを見つけようとしている



6  
いろいろな学校生活のきまりを守っている

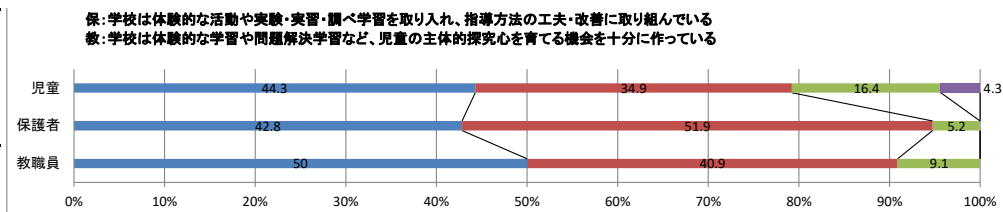


7  
授業(先生の話)がよくわかる

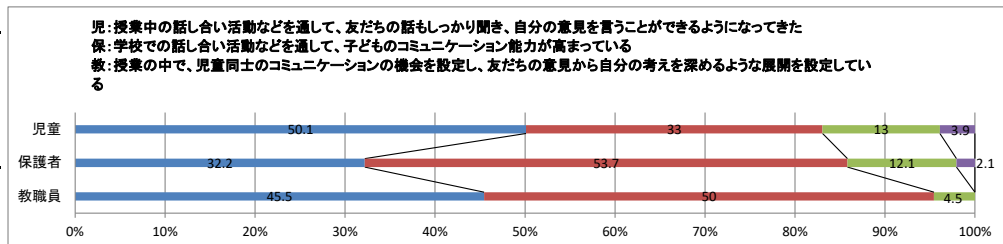


児: さまざまな体験をしたり、自分が疑問に思っていることをさまざまな方法でしらべて解決したりしていく学習をしている

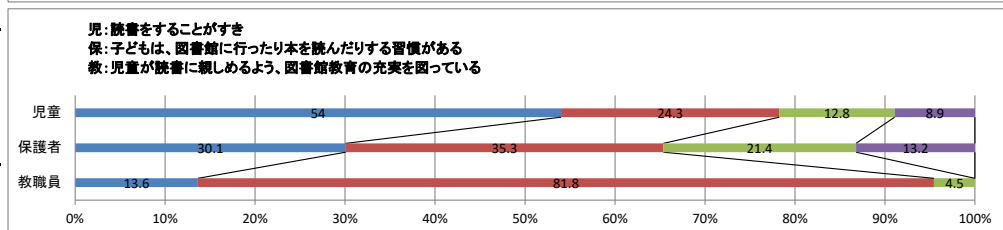
8
さまざまな体験をしたり、自分が疑問に思っていることをさまざまな方法でしらべて解決したりしていく学習をしている



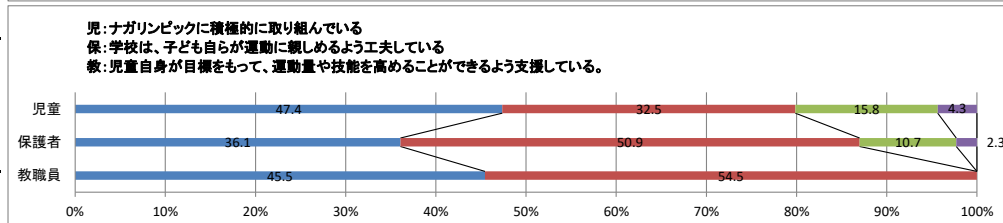
9
授業中の話し合い活動などを通して、友だちの話もしっかり聞き、自分の意見を言うことができるようになってきた



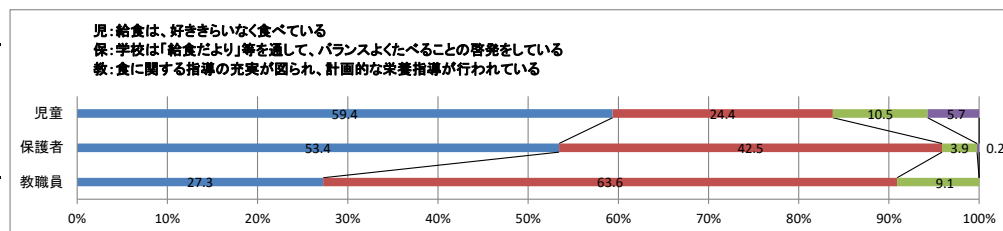
10
読書をするのが好き



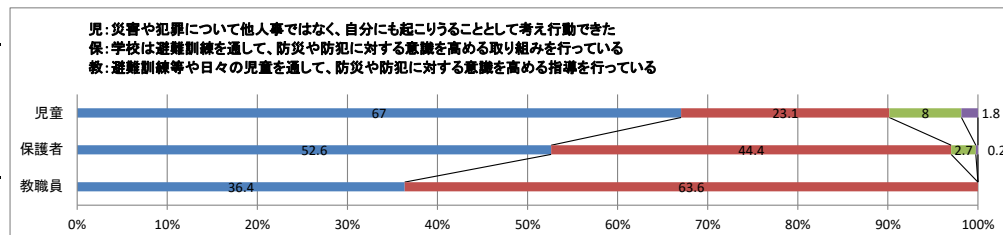
11
ナガリンピックに積極的に取り組んでいる



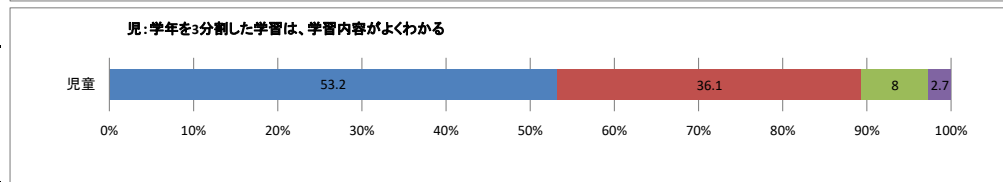
12
給食は、好き嫌いなく食べている



13
災害や犯罪について他人事ではなく、自分にも起こりうることで考え行動できた



14
学年を3分割した学習は、学習内容がよくわかる



○「学校に行くのが楽しい」という問いに肯定的に回答している児童は82.9%、保護者は94.3%。教職員は95.5%が「楽しい」と感じられるように取り組んでいるという結果である。児童に関しては昨年度よりも8.3%減少している。「学年を3分割した学習は学習内容がよくわかる」という問いに肯定的に回答している児童は89.3%で昨年度より5%減少している。ICTの利用の促進など、授業の工夫をさらにすすめ、児童が「わかる」「楽しい」と感じられる授業にしていこうと努める。

○「自分にはよいところがある」という問いに肯定的に回答している児童は83.8%。昨年度よりも4.3%減少している。肯定的に回答しなかった児童の自尊感情を高めるための取組は、家庭と学校で連携し、継続して進める必要がある。学校行事や学習活動、終わりの会、朝会での表彰等、他者から認められる機会を多くもち、自己肯定感を高めるよう努める。

○「授業中の話し合い活動などを通して、友だちの話もしっかり聞き、自分の意見を言うことができるようになってきた」という問いに肯定的に回答している児童は83.1%で昨年度より4.8%向上している。学校全体で昨年度より「主体的に学び、思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成」として授業研究や教材作成に取り組んできた成果が出た。